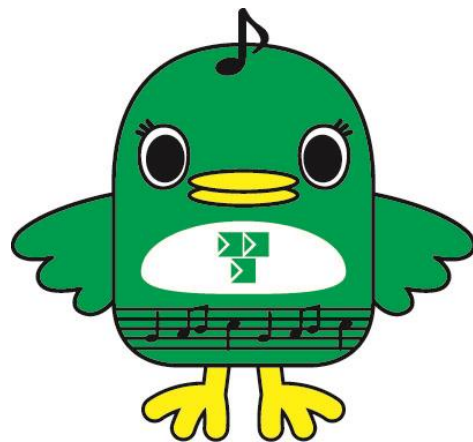


審議事項①

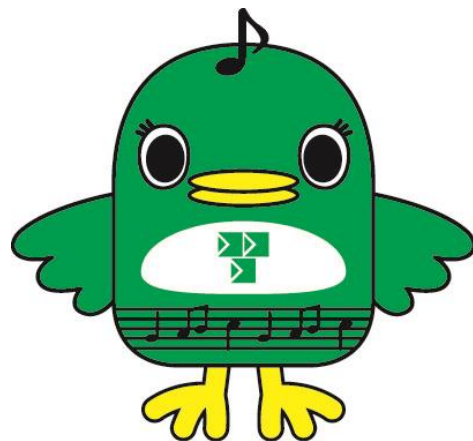
(仮) 国民健康保険 データヘルス計画 (素案) の諮問について



平成29年9月28日
協働経済部 国保年金課

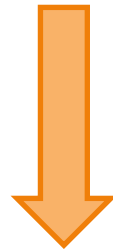
○計画策定にあたって

2



○目指すべき姿（目的）

- 被保険者自らが生活習慣を見直すための取り組みが十分でない
- 被保険者個人のQOLの確保につなげる
（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）



目指すべき姿（目的）

被保険者の主体的な健康づくりを
支え守る社会環境の実現

○計画策定の背景のイメージ

高齢者の医療の確保に関する法律

特定健診等基本指針

国民健康保険法

国保保健事業指針

国民健康保険
データヘルス計画

特定健診等実施計画

保健事業実施計画

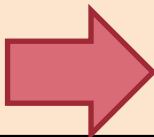



医療保険者が保有するデータ

レセプトデータ

健診データ

...

○計画の期間

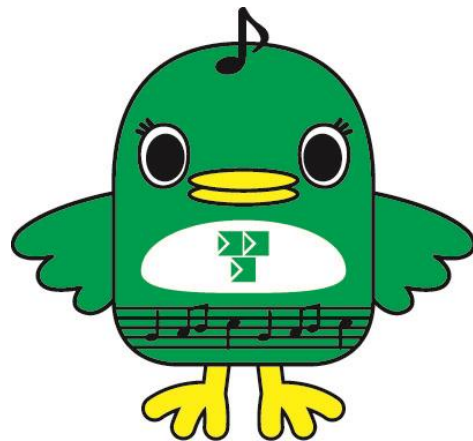
	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度
特定健診等 実施計画								
	策定							
保健事業 実施計画				中間 見直し			見直し	
								

特定健診等実施計画は6年間と決まっているため、
平成35年度までの6年間とする

○データヘルス計画（素案）

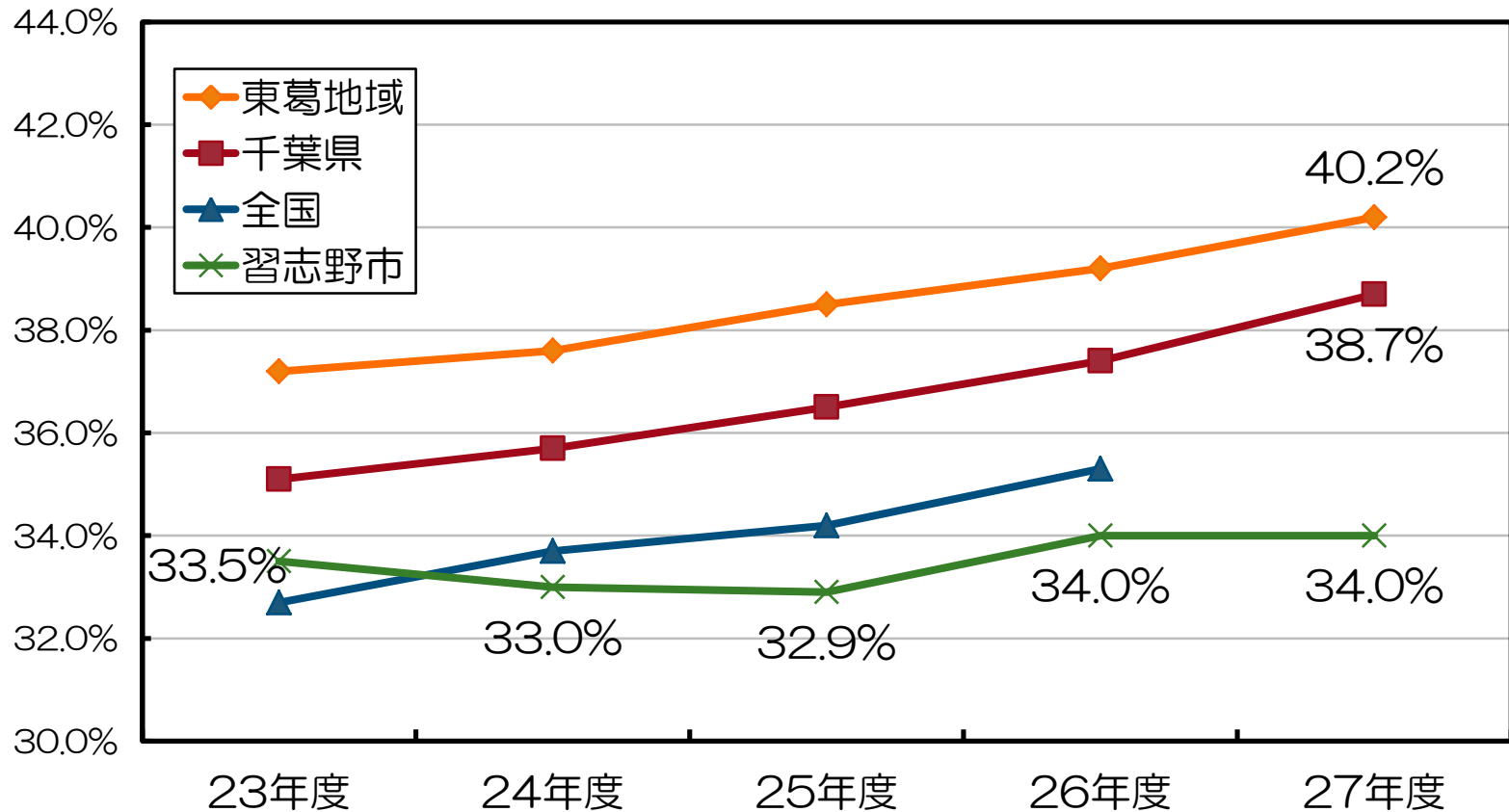
○特定健診等実施計画

6



○特定健康診査受診率

特定健康診査受診率の推移



県より低い34%と伸び悩む

○特定健康診査受診率

年代別・男女別受診率（27年度）

年齢区分	男性	女性	全体		
	受診率	受診率	対象者数	受診者数	受診率
40～44歳	11.5%	18.3%	1,815人	263人	14.5%
45～49歳	13.5%	19.0%	1,811人	290人	16.0%
50～54歳	14.3%	26.2%	1,526人	306人	20.1%
55～59歳	21.1%	29.6%	1,673人	431人	25.8%
60～64歳	27.8%	36.0%	3,142人	1,033人	32.9%
65～69歳	35.8%	42.4%	7,416人	2,935人	39.6%
70～74歳	39.1%	45.3%	7,479人	3,185人	42.6%
合計	29.3%	37.8%	24,862人	8,443人	34.0%

全体の受診率34.0%に対して、
40歳代、50歳代の受診率18.9%

○人間ドック受検者数

短期人間ドック費用助成利用者数の推移

年度	男性	女性	合計	30歳以上 被保険者数	利用者の 占める割合
24年度	515人	439人	954人	32,684人	2.92%
25年度	532人	484人	1,016人	32,278人	3.15%
26年度	512人	501人	1,013人	31,617人	3.20%
27年度	579人	545人	1,124人	30,529人	3.68%
28年度	577人	556人	1,133人	28,730人	3.94%

男性が多い

年々増加

多様な健診ニーズへの対応が必要

○特定健康診査未受診者の状況

特定健康診査未受診者の医療機関受診状況と医療費（28年度）

	被保険者数	割合	1人あたり 年間医療費
受診なし	2,882人	17.4%	0円
受診あり（生活習慣病）	6,991人	42.1%	769,706円
うち市内※	2,477人	14.9%	544,075円
受診あり（その他の疾患）	6,736人	40.6%	197,729円
うち市内※	1,620人	9.8%	186,773円
計	16,609人	100.0%	404,173円
うち市内※	4,097人	24.7%	402,794円

※年間受診件数のうち、市内での受診件数が75%以上

未受診者の24.7%が市内医療機関を受診

○特定保健指導の効果

特定保健指導対象者の異動状況（27・28年度継続受診者）

	対象者	継続	対象 → 対象外		対象外 → 対象	
			リスク改善	服薬開始	リスク悪化	服薬中止
保健指導対象	691人	472人	継続して対象が68.3% 158人 61人			
うち保健指導実施	87人	52人	33人	2人	脱出率が40.2%、 リスク改善者が多い	
うち保健指導未実施	604人	420人	125人	59人		
保健指導対象外	5,511人	5,329人	リスク悪化が 一定程度いる		147人	35人
計	6,202人		219人		182人	

- 効果的な情報提供が必要
- 多様な保健指導の体制が必要
- 継続対象者への指導内容の検討が必要

○特定健康診査等実施計画の目標

国が定めた目標

特定健康診査の受診率 60% 特定保健指導の実施率 60%

千葉県国保平均

特定健康診査の受診率 38.7% 特定保健指導の実施率 20.2%

(27年度)



年度別特定健康診査等実施計画の目標

	27年度 (現状)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度 (目標)
特定健康 診査の 受診率	34.0%	35%	36%	37%	38%	39%	40%
特定保健 指導の 実施率	15.5%	18%	19%	20%	21%	22%	23%

県平均を上回ることを目標

○特定健康診査等実施計画の取組

新たに取り組む事業①

未受診者への受診勧奨の実施

市内医療機関を受診している人に対し、
医師から受診を勧奨

これまでは、市から受診を勧奨するはがきを送付するのみ。

集団健診の実施

日曜日などに年5回程度、市が設置した健診会場で、
集団での健診を実施

これまでは、医療機関での個別健診のみ。仕事をしている人や、
かかりつけ医療機関のない人など、特に40歳代、50歳代が
受けやすくする。

○特定健康診査等実施計画の取組

新たに取り組む事業②

健診結果報告者への返礼の実施

市外のドック受検者などで健診結果を報告した人に、
返礼品を送付

これまでは、自主的な申し出をお願いしているのみ。
特定健康診査の費用は負担し、市内のドック費用は助成。
多様な健診ニーズに応え、報告を促し、保健事業につなげる。

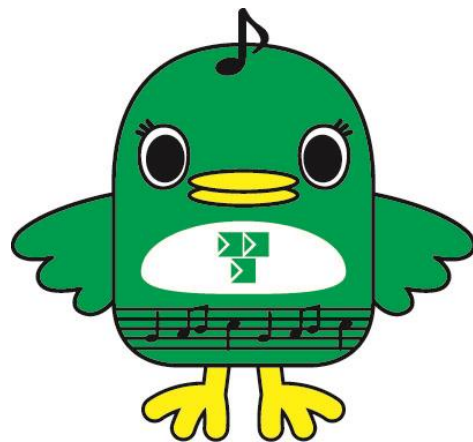
積極的支援終了者への動機付け支援の実施

積極的支援終了者で、検査結果改善が見られる人は、
継続した支援として動機付け支援を実施

国の指針の改正により実施が可能となった。
これまでは、再度積極的支援を実施しなければならず、
同じプログラムでは参加してもらうことが難しかった。

○保健事業実施計画

15



○特定健康診査等質問票の状況

特定健康診査質問票項目別該当者割合（抜粋）（平成27年度）

項目		割合
運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思う	改善するつもりはない	24.7%
	改善するつもりである	25.8%
	近いうちに改善するつもりであり、少しずつ始めている	10.5%
	既に改善に取り組んでいる（6か月未満）	7.2%
	既に改善に取り組んでいる（6か月以上）	19.3%
生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば利用する	40.0%	

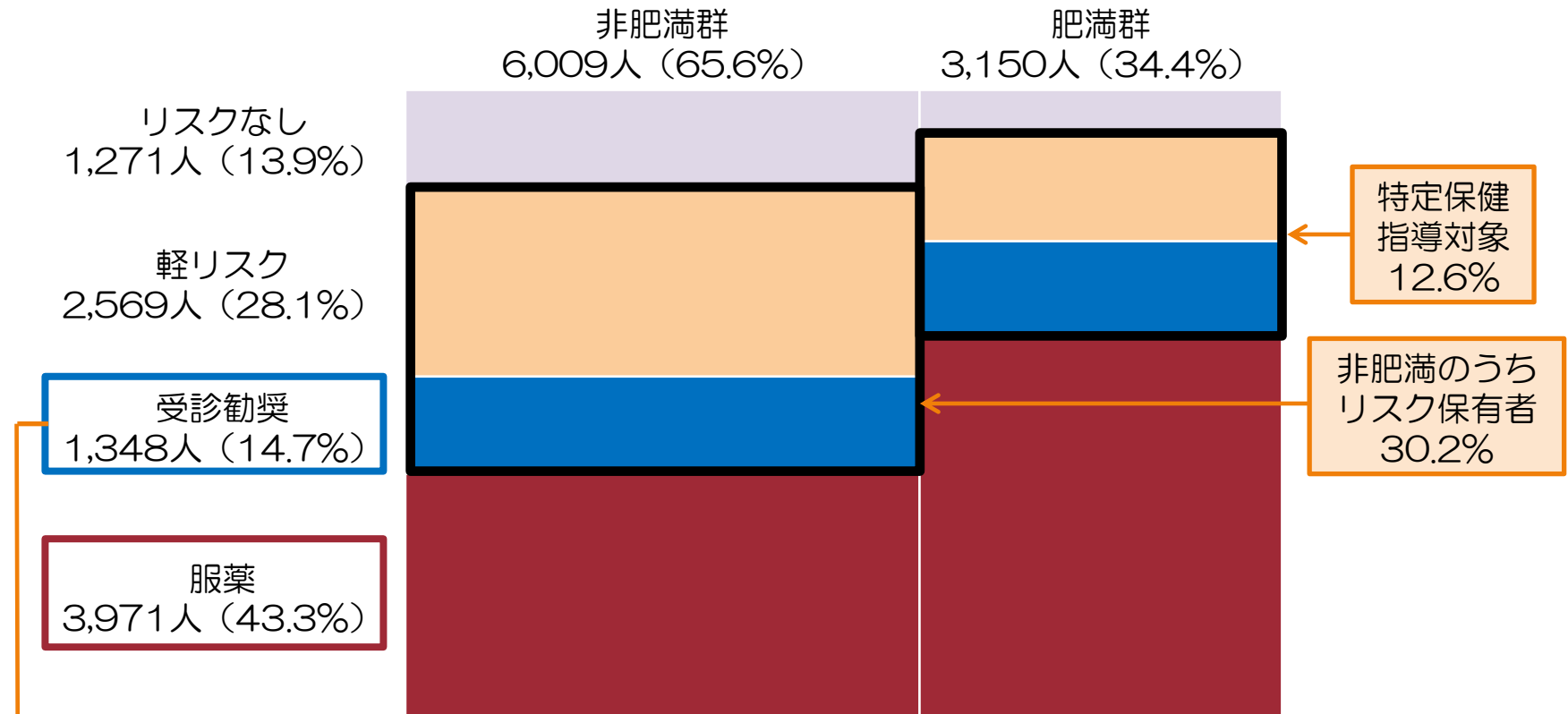
改善意欲がある人
約6割

参加意欲がある人
約4割

既に改善に取り組んでいる人は
26.5%と少ない

○生活習慣病リスクの保有状況

平成27年度特定健康診査結果（9,159人）

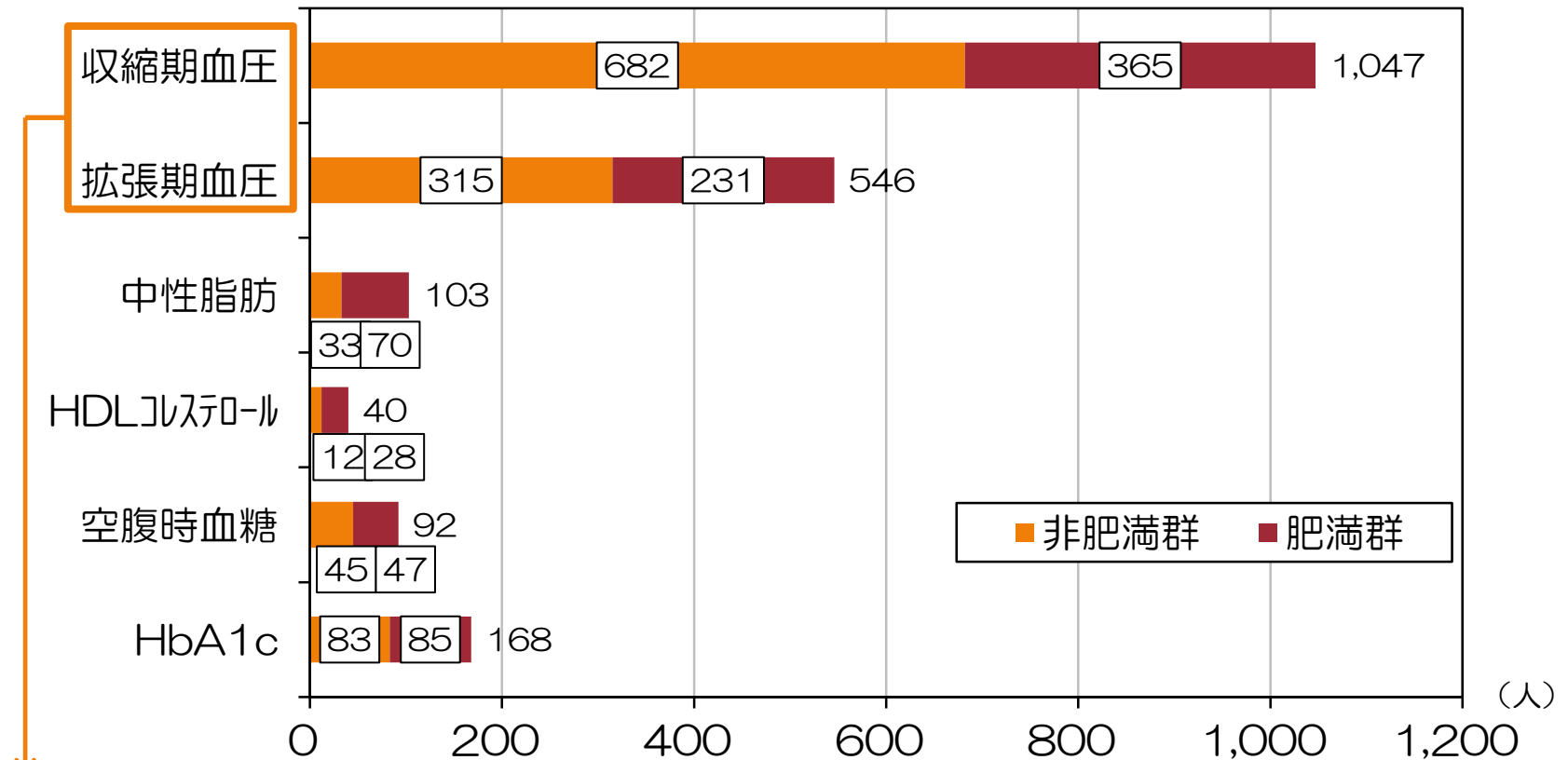


※肥満・軽リスク：特保の階層化基準 服薬：問診項目で服薬あり 受診勧奨：受診勧奨値

非肥満者を含めると治療が必要な人が14.7%

○受診勧奨域者の状況

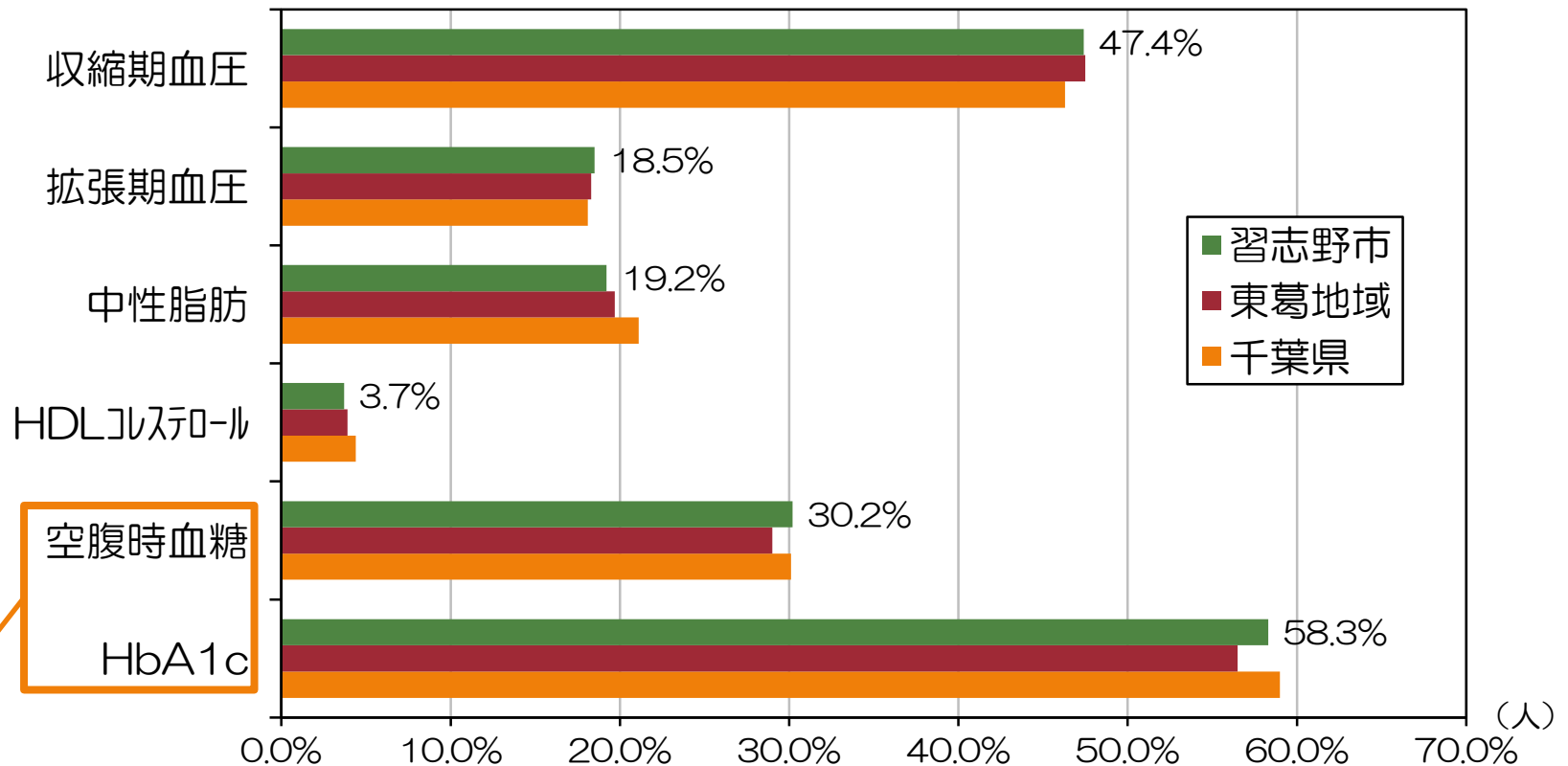
検査項目別の受診勧奨域者数（総数1,348人）



血圧で受診勧奨値の人が多く
受診勧奨域者の約8割が収縮期血圧

○有所見者の状況

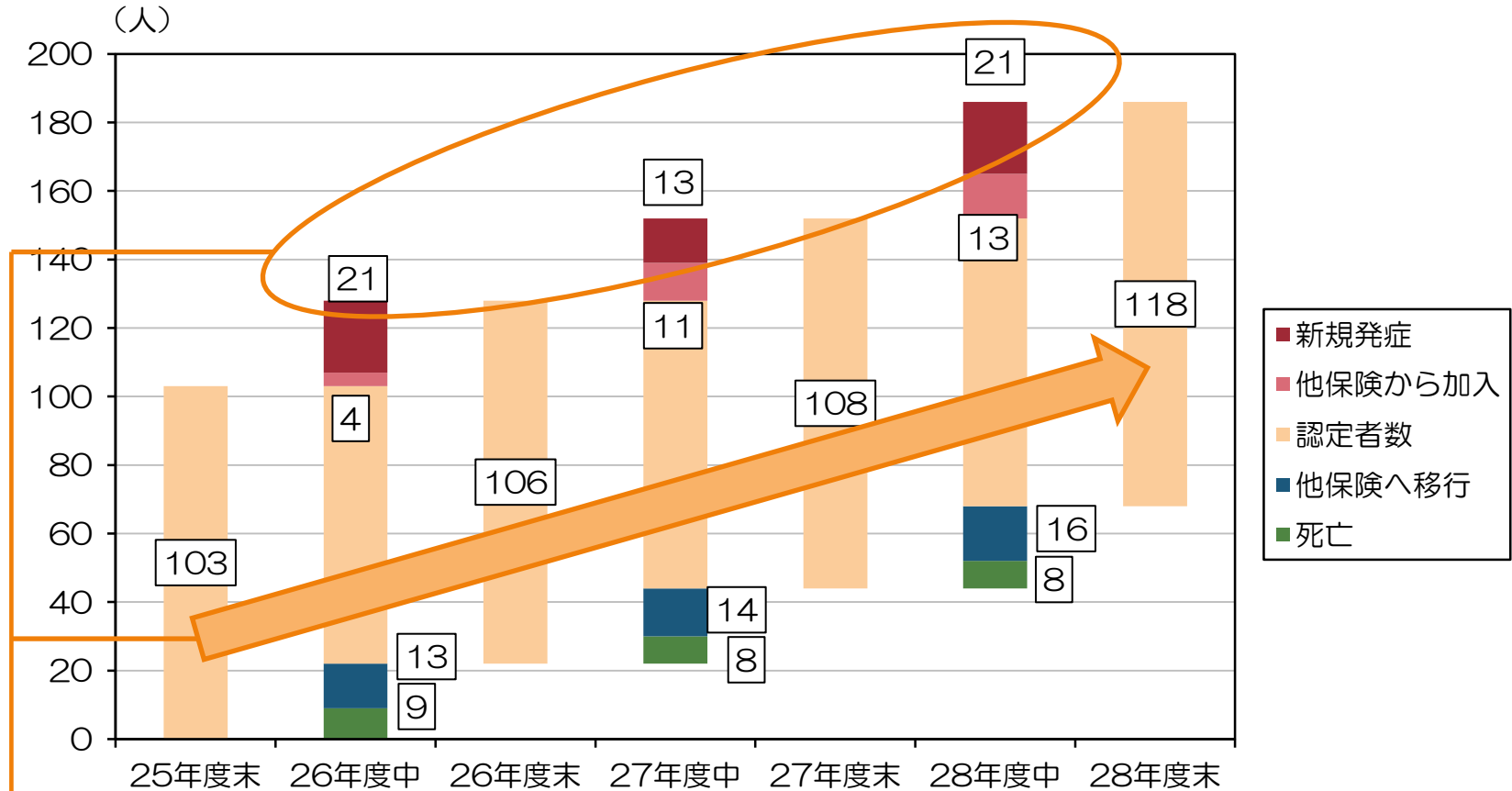
検査項目別の有所見者（保健指導判定値以上）の割合



血糖（HbA1c）で有所見の人が多い
他市との比較も血糖（空腹時血糖含む）が高い

○慢性腎不全認定者の動向

特定疾病療養受療証（慢性腎不全）対象者の動向



認定者数は年々増加
毎年新たに認定されている人が10人以上

○保健事業実施計画の目標

保健事業実施計画の目標①

健康課題	目標とする指標	28年度 (現状)	35年度 (目標)
高血圧性疾患の件数が最も多く、既に改善に取り組んでいる人は26.5%と少ないため、自ら生活習慣の改善に取り組むことについて周知が必要	既に改善に取り組んでいる人の割合	26.5%	30%以上
	小中学校での健康教育実施校数	7校	20校以上
	健康教育実施回数	61回	80回以上
受診勧奨域で服薬治療を開始していない人が、非肥満者を含め14.7%と多く、血圧で該当している人が最も多い	受診勧奨域の割合	14.7%	14%以下
	受診勧奨者の医療機関受診率	31.3%	40%以上

※既に改善に取り組んでいる人の割合は、前年度の質問票項目で「既に改善に取り組んでいる（6か月未満）」と「既に改善に取り組んでいる（6か月以上）」の割合の合計

※受診勧奨域の割合は、前年度特定健康診査結果により、受診勧奨に区分される者の割合

※医療機関受診率は、勧奨後3ヵ月以内に医療機関を受診した者の割合

○保健事業実施計画の目標

保健事業実施計画の目標②

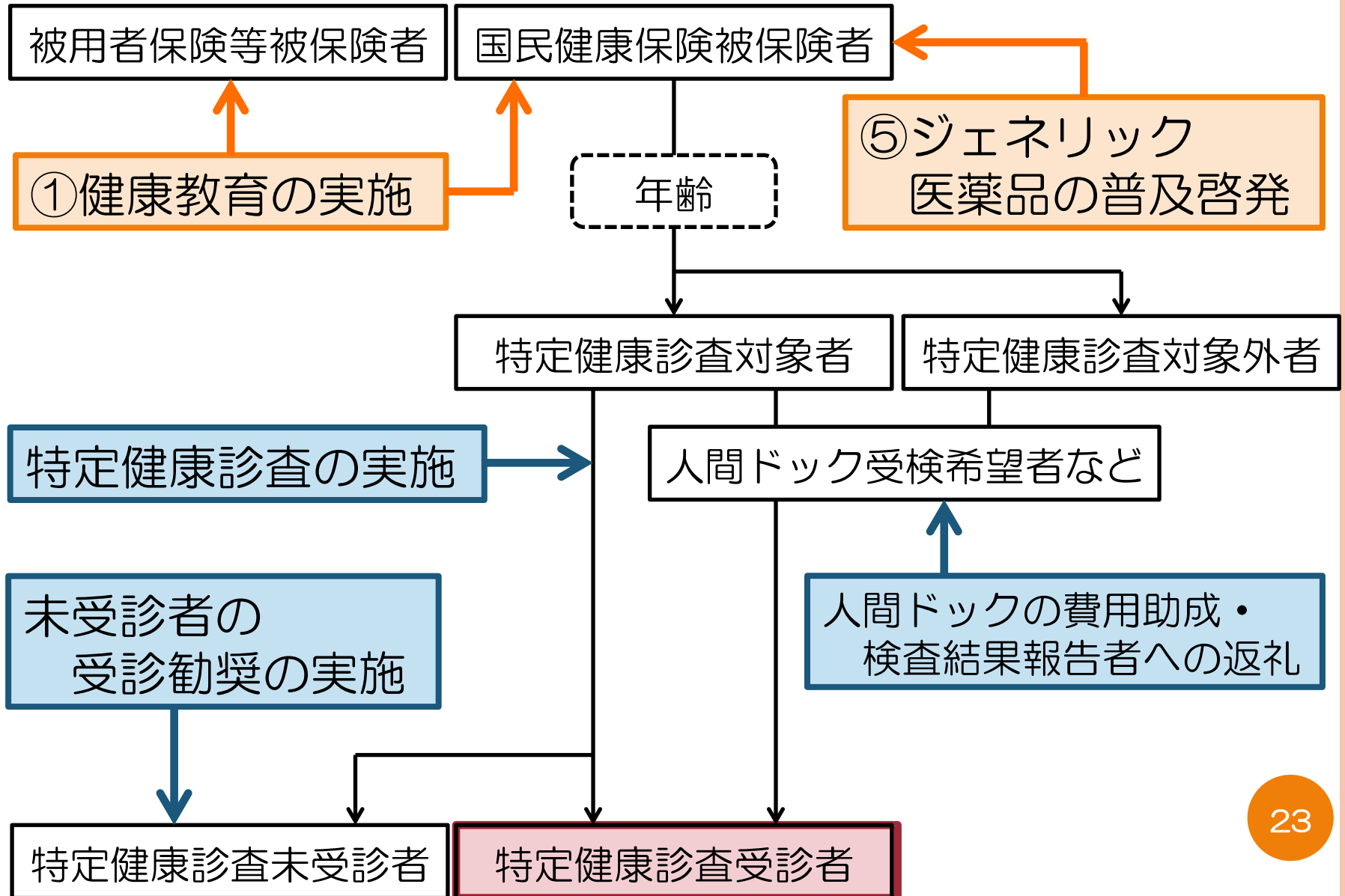
健康課題	目標とする指標	28年度 (現状)	35年度 (目標)
生活習慣病リスクがない人は 13.9%と少なく、 HbA1cで有所見と なっている人が最も多い	生活習慣病リスクが ない者の割合	14.7%	15%以上
	指導実施者の 検査結果改善率	54.3%	70%以上
慢性腎不全による特定疾病 対象者は、毎年10人以上 新たに認定されている	慢性腎不全による 特定疾病対象者数	118人	100人以 下
	指導実施者の 人工透析移行率	/	0%

※生活習慣病リスクがない者の割合は、前年度特定健康診査結果により、
リスクなしに区分される者の割合

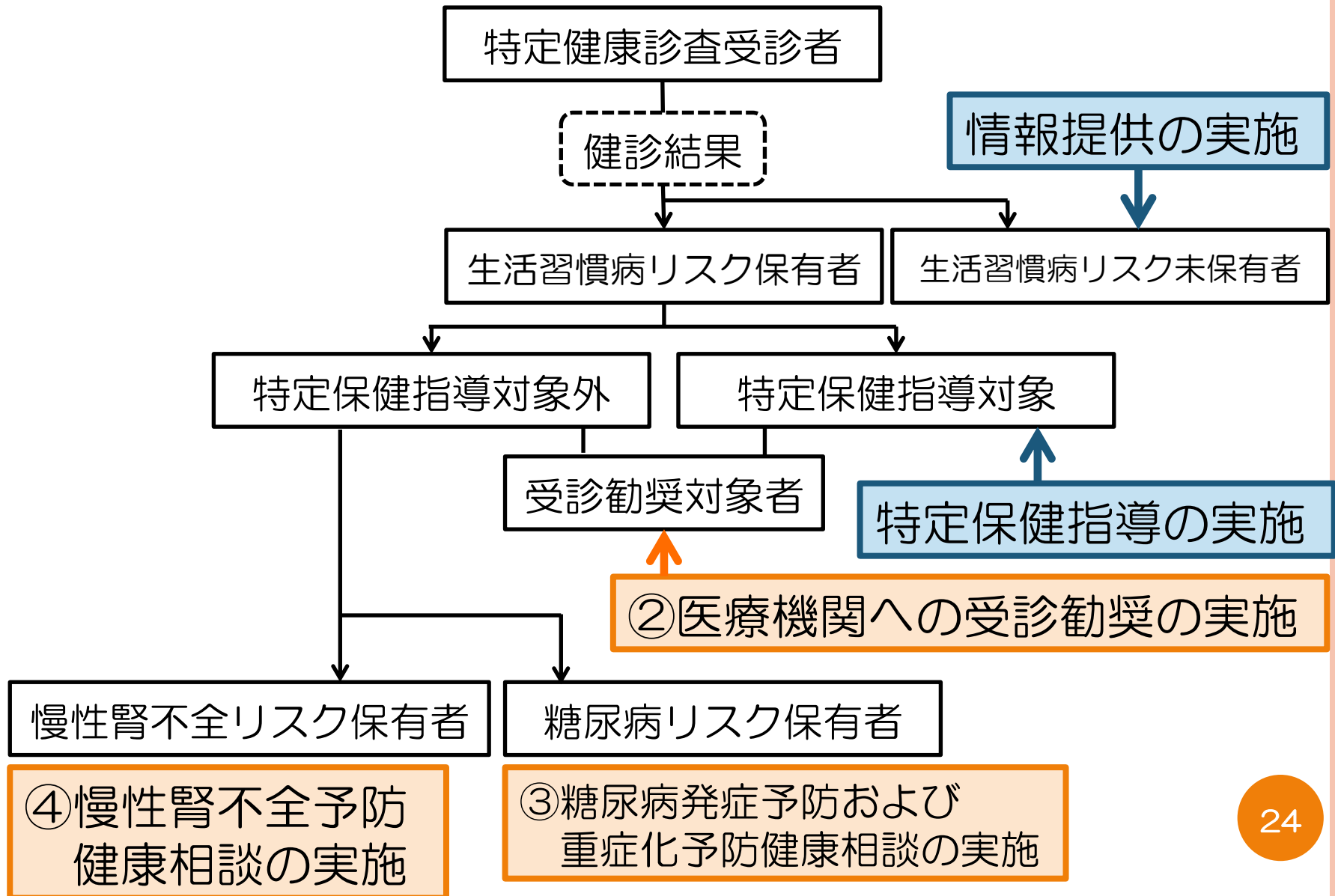
※指導実施者の検査結果改善率は、翌年度の特定健康診査結果により、
HbA1cが維持若しくは低下した者の割合

※人工透析移行率は、翌年度までに特定疾病の認定を受けた者の割合

○個別保健事業の対象者①



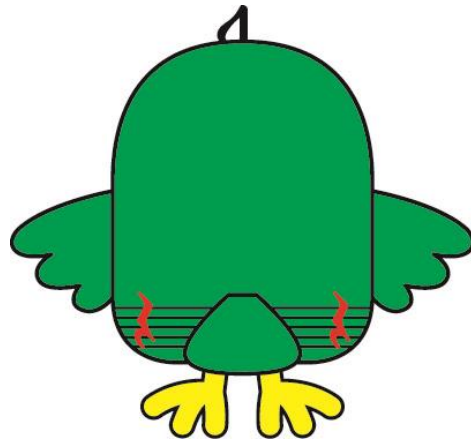
○個別保健事業の対象者②



審議事項①

(仮) 国民健康保険 データヘルス計画 (素案) の諮問について

25



終